

原材料等諸経費が依然として高水準で推移

労務費負担の増加が見込まれ、経営環境の不透明感強まる

～景況 DI 値は、前年同月比7.9ポイント低下のマイナス23.7～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 9月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比36.8ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比同水準のマイナス21.0。非製造業では、前月比42.1ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比15.8ポイント低下のプラスマイナス0。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比5.2ポイント低下のプラス5.3、前年同月比10.5ポイント低下のプラス10.5。非製造業では、DI 値前月比15.7ポイント低下のプラス15.8、前年同月比5.3ポイント低下のプラス57.9。

収益状況 製造業では、DI 値前月比31.6ポイント上昇のプラス5.3、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス47.3。非製造業では、前月比26.3ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比10.6ポイント低下のマイナス5.3。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比同水準のマイナス10.5、前年同月比同水準のマイナス21.1。非製造業では、前月比21.1ポイント低下のマイナス21.1、前年同月比21.0ポイント低下のマイナス21.0。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比10.6ポイント上昇のマイナス10.5、前年同月比同水準のマイナス26.3。非製造業では、前月比15.8ポイント低下のマイナス5.3、前年同月比同水準のプラス5.2。

景況 製造業では、DI 値前月比10.5ポイント上昇のマイナス15.8、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス31.5。非製造業では、前月比21.1ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比21.0ポイント低下のマイナス15.8。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比5.3ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比7.9ポイント低下のマイナス23.7となった。製造業では、光熱費、原材料等諸経費の高止まりが継続しており収益状況は引き続き厳しい。一部業種では米国関税の影響によるさらなるコスト増加が懸念され、コスト管理に苦慮しているほか、慢性的な人材不足が続いていることが散見される。非製造業では、9月に入り気温も下がってきたことで観光関連では人流が増加し賑わいが見られたものの、長引く物価高騰による消費の停滞が続いており、前月比、前年同月比ともに収益状況が悪化するなど厳しい状況が続いている。県内景況は、原材料やエネルギーコスト、輸送費などの諸経費が依然として高水準で推移しており、収益圧迫が続いている。さらに、最低賃金改定に伴う労務費負担の増加が見込まれ、経営環境の不透明感は一段と強まるなど先行きは厳しい。

2. 企業倒産（㈱帝国データバンク調べ）

9月の全国倒産は、件数909件で、(前年同月741件、22.7%増)と4カ月連続で前年を上回った。9月としては、2010年(943件)以来15年ぶりに900件を超えた。2025年1～9月の累計は7619件で、前年同期(7294件)を325件、4.5%上回った。

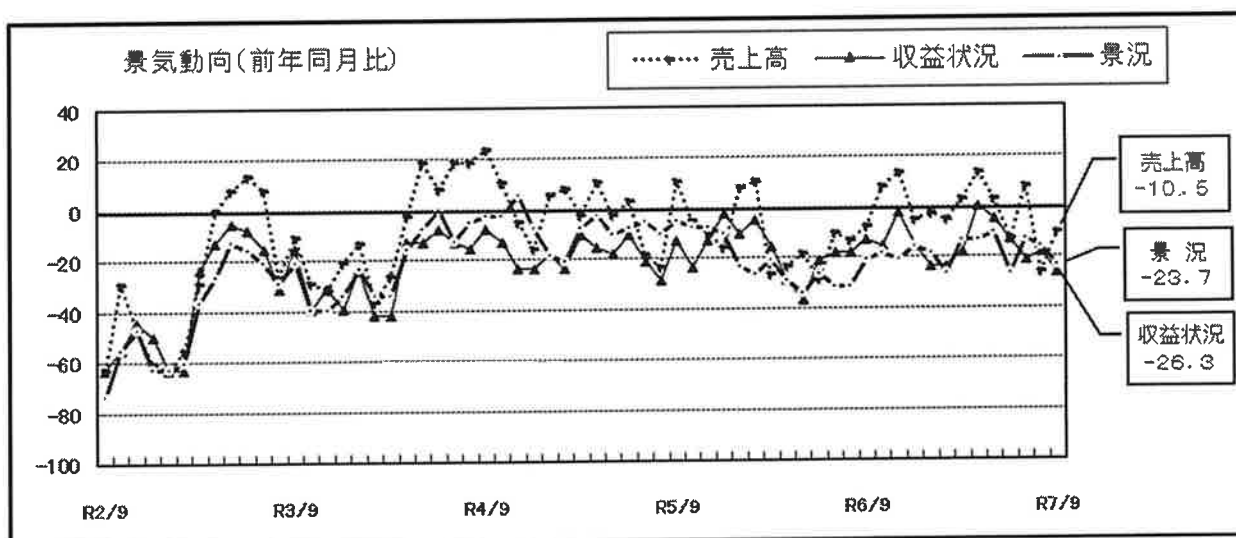
一方、9月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数4件(前月2件)、負債総額は3億9300万円(前月1億9300万円)となった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報8月分」）

鳥取県の8月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.27倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.20倍）で、前月より0.02ポイント上昇となった。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.10倍、米子所1.32倍、倉吉所1.37倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.42倍（季節調整値）で、前月より0.22ポイント上昇した。

新規求人数は、前年同月比2.8%減少し、有効求人数も3.3%減少した。産業別に前年同月で比較すると、運輸業・郵便業（12.0%）、医療・福祉（5.3%）、卸売業・小売業（4.4%）、建設業（4.1%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比1.3%減少、有効求職者数は前年同月比3.7%減少となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.05倍で、前年同月と同水準、新規求人数は前年同月に比べ0.8%減少した。



前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	31.6%	21.1%	10.5 36.8	31.6%	47.4%	-15.8 -42.1	31.6%	34.2%	-2.6 -2.6
(2) 在庫数量	0.0%	5.3%	-5.3 -5.3	16.7%	8.3%	8.4 -8.3	6.5%	6.5%	0.0 -6.4
(3) 販売価格	5.3%	0.0%	5.3 -5.2	26.3%	10.5%	15.8 -15.7	15.8%	5.3%	10.5 -10.6
(4) 取引条件	5.3%	0.0%	5.3 0.0	0.0%	5.3%	-5.3 0.0	2.6%	2.6%	0.0 0.0
(5) 収益状況	21.1%	15.8%	5.3 31.6	15.8%	31.6%	-15.8 -26.3	18.4%	23.7%	-5.3 2.5
(6) 資金繰り	0.0%	10.5%	-10.5 0.0	0.0%	21.1%	-21.1 -21.1	0.0%	15.8%	-15.8 -10.5
(7) 設備操業度	15.8%	5.3%	10.5 -31.5						
(8) 雇用人員	0.0%	10.5%	-10.5 10.6	0.0%	5.3%	-5.3 -15.8	0.0%	7.9%	-7.9 -2.7
(9) 景 況	0.0%	15.8%	-15.8 10.5	10.5%	26.3%	-15.8 -21.1	5.3%	21.1%	-15.8 -5.3

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	15.8%	36.8%	-21.0 0.0	26.3%	26.3%	0.0 -15.8	21.1%	31.6%	-10.5 15.5
(2) 在庫数量	10.5%	10.5%	0.0 10.5	8.3%	0.0%	8.3 -8.4	9.7%	6.5%	3.2 3.2
(3) 販売価格	15.8%	5.3%	10.5 -10.5	63.2%	5.3%	57.9 -5.3	39.5%	5.3%	34.2 -7.9
(4) 取引条件	5.3%	15.8%	-10.5 0.0	10.5%	10.5%	0.0 5.2	7.9%	13.2%	-5.3 2.6
(5) 収益状況	5.3%	52.6%	-47.3 -5.2	26.3%	31.6%	-5.3 -10.6	15.8%	42.1%	-26.3 -7.9
(6) 資金繰り	0.0%	21.1%	-21.1 0.0	5.3%	26.3%	-21.0 -21.0	2.6%	23.7%	-21.1 -10.6
(7) 設備操業度	0.0%	31.6%	-31.6 0.0						
(8) 雇用人員	0.0%	26.3%	-26.3 0.0	10.5%	5.3%	5.2 0.0	5.3%	15.8%	-10.5 0.0
(9) 景 況	5.3%	36.8%	-31.5 5.3	10.5%	26.3%	-15.8 -21.0	7.9%	31.6%	-23.7 -7.9

* D I とは、デフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

* D I 欄下段は、今月調査 D I（上段）から前月調査 D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 電気、LPG 等光熱費や原料、特に鶏卵の高止まり等により収益を圧迫している。円安により輸入原料のさらなる値上げが懸念される。

醤油⇒ 味噌・醤油の業界は商品値上げの影響もあり取扱数量が減少したものの、売上については前年並みで推移している。

【繊維工業】

繊維製品⇒ マーケットの動きは鈍く、仕事量は低水準で推移している。

ニット製品⇒ 来年の春・夏物の受注は前年在庫の売れ残りがあり小売段階で未消化のため発注量は減少している。最低賃金のアップを全国でも最も早く適応した鳥取県では、県内工場での雇用人員の所定労働時間調整をパートの人員削減も含めて検討する必要がある。

【家具装備品】

⇒ 売上高は前月比、前年同月比ともに減少、収益状況も前月比、前年同月比ともに減少となった。

【木材・木製品】

製材品⇒ 製材用素材の入荷量は前月比で横ばい、前年同月比で減少、製材品、合板の生産量は前月比で減少となった。製材品の需要は4、5月の落ち込みからの建築戸数の持ち直しにより回復を期待しているが、平年並みに届いてないのが現状。建築資材等の値上により建築費用は大幅に上昇し、その影響で建築費の助成などの利用数も減っており、新築の受注が伸び悩むなか改築に主力を移している建築業者も増えている。プレカット加工の稼働率は前月比60%、前年同月比は40%で推移した。

【紙・加工品】

和紙⇒ 円安の影響により原材料等諸経費の高止まりが続いている。

【印刷】

⇒ イベント関連の仕事が増えたほか、『手話パフォーマンス甲子園』や世界陸上に向けたジャマイカチームの合宿による印刷物、看板などの依頼があった。『手話パフォーマンス甲子園』に出席された秋篠宮家の次女佳子さまが因州和紙を使用したイヤリングを着用されたことを機に、全国から和紙イヤリングの注文が入った。業界では鳥取市の印刷会社同士が10月1日より合併となり、今後の印刷業界の発展に期待が持たれる。

【窯業・土石製品】

生コン⇒ 東部地区の9月の出荷量は、8月の稼働日数が少なかったことから前月比約124%と大幅に増加したものの、災害復旧工事の収束から前年同月比約82%と減少となった。今後も減少傾向が継続する見通しとなっている。中部地区では、東部地区と同様の理由から前月比約161%と大幅に増加、前年同月比約63%と減少した。4～9月の累計出荷量でも前年同月比は70%台にとどまり、低水準で推移している。需要の停滞傾向は依然として顕著であり、今後も低調が続く見通し。西部地区では東部、中部地区と同様の理由で前月比約118%と増加したが、前年同月比では約77%と大幅に減少した。現在も一定の需要の底堅さは見受けられるため、今後も堅調な推移が続くと見込まれる。若手人材の確保に苦慮しており、今後

の事業継続上の課題となっている。

【金属製品】

金属部品加工⇒ 機械金属加工業者は、大手企業との直接取引が可能な事業者が少なく、価格転嫁が難しい状況にあることから、コスト管理の困難さが如実に表れている。今後、自動車関連産業の需要拡大が期待されるが、繁忙期の到来は来年以降になる見込みである。製造業の景況感は、大企業においては改善傾向が見られるものの、依然として厳しい状況が続いている。特に、中小・零細製造業では、慢性的な人手不足や人件費・原材料費の高騰、物流コストの上昇、さらには米国の関税政策などが大きな負担となっている。

鉄骨加工⇒ 県内物件の仕事量として中西部においては公共・民間工事の発注があり秋から来年の春先までの鉄骨需要が高まる企業もあり、県内の同業ファブリーケーターの品質、加工能力を併せ持った協力体制の保持に努めていく姿勢が見受けられる。また、年末に向けた改修工事等も増えてきているが、受注単価は低く苦慮している。各社とも安価物件は慎重に應對している様子が見える。

金属熱処理⇒ 9月の加工料収入は前月比、前年同月比とも若干の上昇となった。好調を維持しているのはエネルギー関係の部品で自動車、建機、産業機械は必ずしもコロナ前ほどの景気回復には至っていない。米国関税の影響も出ている中小企業も見受けられ、県外の同業も景気は低迷したままである。

【電気機械器具】

⇒ 米国関税の影響により材料の納期遅延が発生しているうえ、材料の不足や生産調整で計画変更が多発している。安定生産に支障をきたしており、収益確保が厳しい状況。設備投資や賃上げ等への対応に苦慮している。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係の、前月比では猛暑の影響が和らぎ、売上高、取扱数量とも大きく増加した。前年同月比では取扱数量、売上高が増加している。鮮魚関係の前月比では、猛暑が一段落し売上高、取扱数量が大幅に増加した。一方前年同月比では、売上高、取扱数量とも増加している。引き続き、最低賃金の引き上げで打撃を受ける話が随所で聞かれる。最低賃金の引き上げに対しできる限り直接的な支援が望まれる。

中部地区⇒ 大型案件の取り込みと Windows のアップグレードに係る案件が増えたため売上が上昇した。Windows10 のサポート切れに伴い、一部のインターネットバンキングから保証ができなくなるなどの影響からパソコンの入れ替え需要が発生している。

西部地区⇒ 食料品、消耗品等の値上げに加え、燃料費の上昇による原価への影響が懸念される。また、仕入配送に関わるコスト増の影響、配送の減便とそれに伴うトラックの大型化等が見受けられる。人材確保が難しくなっているうえ、最低賃金の上昇による人件費上昇が懸念されている。日銀の利上げにより各金融機関の利上げ基調が強まってきており、今後の影響が危惧される。米国関税の合意も、従来からの関税上昇の影響が懸念され先行き不透明感は強まっている。

水産物⇒ 巻き網は昨年豊漁であった真イワシの水揚げが低調に終わり、数量としては昨年を大きく下回る水揚げとなったが、ブリ・ハマチ類の豊漁もあり水揚げ金額は昨年を越えた。底引きは天候にも恵まれ昨年不漁であったハタハタ類は豊漁であり、スルメイカ等もまとまった水揚げとなった。紅ズワイ漁は昨年よ

り1隻減船となり水揚げ量も2割近く減少し浜値段は高値で推移した。全体には厳しい残暑がつづき、豊漁となったサンマ以外の煮物、鍋物用の鮮魚の動きが低迷し販売に苦慮した月となった。

リサイクル原料⇒ 取扱品物の発生数量は、若干の減少が見受けられる。価格に大きな影響は出していない。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取市の商店街では、9月は特別なイベント等もなく、来街者は減少傾向となった。仕入価格の高騰が続き、価格転嫁も追いつかず収益を圧迫している。物価高騰が影響し、消費者の財布の紐は引き続き固く、生活防衛の色が濃く出ている。駅周辺ではインバウンドを含む旅行者などの増加はプラス要因であるが、物価上昇でコストの負担が大きくなっており、小売も飲食も価格転嫁により売上は増加していても、原価などコストの上昇の方が大きく、トータルでは厳しい状況に変わりはない。飲食店では価格の上昇が客離れの要因となっている。

鳥取市の水産物小売では、9月の入込数は前月比で1社が改装による休業もあり減少、前年同月比は概ね横ばいで推移した。漁獲量の減少やあらゆる経費負担の増加に伴い魚の相場も高まってきている。

中 部 地 区⇒ 倉吉市の商店街では、谷口ジロー原作『遙かな町へ』の映画製作がクランクアップしたが、撮影が行われていた約1ヵ月半、撮影に関わる30～40人のスタッフ陣が街に宿泊し、撮影拠点として打吹回廊に事務所を構えるなど、絶えず人の動きがあり、活気に満ちて商店街にとってありがたい経済効果があった。この映画製作が次の街おこしに繋がることを期待する。10月は『福高祭2025～遙かな町へ～』と題して、秋のイベントを実施する予定で、撮影に関係された錦織良成監督やエキストラとして出演された地元の人々に集まってもらい、撮影にまつわる思い出などを語っていただく機会を計画している。

西 部 地 区⇒ 米子市の商店街では、8月の観光シーズンが終わり、9月は全体的に集客が落ち着きをみせた。一方で、商店街としてはフィールドワークシーズンに入り、学生の受け入れが増えており、地元中学生向けの授業も実施し地域の子どもたちと関わる機会を持つことができた。10月も引き続き2校の受け入れを予定している。学生との交流を通じて、商店街の取り組みや店舗の認知向上につなげていきたい。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、9月に入り暑さによる出控えが少なくなり、観光客が戻りつつあった。3連休や飛び石連休があり、やや天気が崩れた日もあったが全体的に人出は悪くなく、販売価格の上昇などにより売上確保につながった。団体バスに関しては他県からの万博関連の日帰り、1泊ツアーが強く、他の地域（鳥取県含む）へのツアーは集客が良くなく苦戦している。

米子市のホテル・旅館では、インバウンドの旅行者の増加が見受けられる。恒常的に人材不足が続いている。

三朝温泉では、土日や連休中は家族連れ、団体客などで賑わっていたが、平日はかなり落ち着いていた。8月の猛暑から一転して涼しくなり、日中の人流は増加傾向にある。11月、12月に向けて海外からの団体ツアーの問い合わせが増えてきているが、繁忙期と重なるうえタイミングも合わず宿泊の増加にはつながっていない。

羽合温泉では、9月の宿泊は前月比約40%減少、前年同月比約15%減少となった。9月前半は夏休み明けの反動と施設のメンテナンスに伴う休館もあり

宿泊が伸びず、中旬以降の3連休で徐々に取り戻したが、飛び石連休の影響や香港便運休によりインバウンドが減り伸び悩んだ。

【自動車整備業】

⇒ 9月の新車は普通車・軽自動車を含わせて2,282台で前月比は48.6%の増加、前年同月比は1.0%の減少となった。中古車は普通車・軽自動車を含わせて658台で前月比24.2%の増加、前年同月比は1.9%の減少となった。継続検査は普通車・軽自動車を含わせて16,873台で前月比39.2%、前年同月比9.0%でともに増加となった。

【建設業】

⇒ 8月の県内公共工事発注(西日本建設業保証(株)保証取扱)は、請負金額53億円(前年同月比35.4%減)、件数143件(前年同月比22.7%減)となった。年度累計(令和7年4月～令和7年8月)は、請負金額482億円(前年同月比6.2%減)、件数823件(同12.4%減)。地区別では、西部、日野地区で増加、中部地区は前年並み、東部、八頭地区で減少となった(前年同月比)。設備投資は単月で前年同月比プラスに振れるも、3か月平均はマイナスが続き、住宅投資は引き続き大幅なマイナス。公共投資は単月、年度累計ともにマイナス幅が広がる。全体としては弱めの動きとなっている。また、先行きも弱含む。資材価格や労務コストの高騰による売上・採算の悪化が継続している。また、住宅関連工事の不振が危惧されるなか、県外業者の進出による競争の激化も懸念される。

8月の鳥取県新設住宅着工戸数は127戸(持家112戸、貸家15戸)で、前月比7%減少、前年同月比52%減少となった。

【運輸業】

東 部 地 区⇒ 9月の物流は、年間の第二繁忙期ということもあり、物流量としては増加であった。依然としてドライバー不足は深刻で時間外労働規制を背景に、スポット運賃は高止まりが続いている。売上は前月比、前年同月比ともに増加となったが、値上げによるものとの見方も出来る。時節的に上向きになると見られるも、法改正(物流効率化法)の対応に追われるなか、燃料価格や人件費及び車両本体価格、諸経費などの高騰は依然として輸送コストの増加をもたらしている。ガソリン暫定税率は廃止で軽油取引税の暫定分は据え置きの可能性もあり、今後も厳しい状況に変わりはない。

西 部 地 区⇒ 配送関連については、農産物関連において低下したものの、他配送については8月の稼働日数不足の反動もあり若干増加した。引き続きドライバー不足は深刻であり人材確保のため一層の経営努力が必要となっている。また、燃料価格も7月以降、原油価格、為替変動のため連続して増加した。物価高騰によるトラック及び関連機器の費用、人件費、燃料費など経営環境はますます厳しくなっている。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・電気料金、ガス料金の値下げを望む。米国関税に対するコストダウンを下請けに依頼しないよう対策を望む。【金属熱処理業】
- ・消費税廃止など大胆な経済政策を望む。【商店街】

最近の指標の前月比D I の推移

		2024年												2025年	前年との増減幅
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
売上高	製造業	42.0	26.3	-10.5	-5.2	-21.0	-5.3	5.2	21.0	-10.5	-10.5	26.3	-26.3	10.5	-31.5
	非製造業	-47.3	21.0	15.7	-5.3	-36.8	15.8	68.4	-26.3	21.0	21.0	26.3	26.3	-15.8	31.5
	全業種	-2.6	23.7	2.6	-5.2	-29.0	5.3	36.9	-2.7	5.3	-18.4	26.3	0.0	-2.6	0.0
在庫数量	製造業	5.3	0.0	15.8	-15.8	-10.5	5.3	-21.1	-26.3	0.0	-10.5	-15.8	0.0	-5.3	-10.6
	非製造業	-25.0	0.0	8.4	16.7	-8.4	8.3	25.0	8.4	25.0	16.7	33.3	16.7	8.4	33.4
	全業種	-6.4	0.0	12.9	-3.2	-9.6	6.4	-3.2	-12.9	9.6	0.0	3.2	6.4	0.0	6.4
販売価格	製造業	10.5	5.3	5.2	-5.2	5.3	10.5	10.5	-5.2	10.5	15.8	5.3	10.5	5.3	-5.2
	非製造業	5.3	21.0	42.1	36.8	5.3	5.3	10.5	10.5	15.8	5.3	10.6	31.5	15.8	10.5
	全業種	7.9	13.2	23.6	15.8	5.2	7.9	10.5	2.6	13.1	10.5	7.9	21.1	10.5	2.6
取引条件	製造業	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	-5.2	-10.5	0.0	-15.8	-5.3	0.0	5.3	5.3	5.3
	非製造業	-5.3	0.0	5.3	0.0	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-5.3	-5.3	0.0
	全業種	-2.6	2.6	2.6	0.0	-2.7	-2.7	-5.3	0.0	-7.9	-2.6	0.0	0.0	0.0	2.6
収益状況	製造業	-15.8	-26.3	-42.1	-21.1	-26.3	-10.6	-31.5	-5.3	-15.8	-15.8	5.3	-26.3	5.3	21.1
	非製造業	21.0	10.5	21.1	-5.3	-15.8	10.6	21.1	-26.3	5.3	-10.6	21.0	10.5	-15.8	-36.8
	全業種	-18.4	-7.9	-10.5	-13.2	-21.0	0.0	-5.3	-15.8	5.3	-13.1	13.2	-7.8	-5.3	13.1
資金繰り	製造業	-5.2	-10.5	-21.1	-21.1	-5.3	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	0.0	0.0	-10.5	-10.5	-5.3
	非製造業	-10.5	15.8	15.8	0.0	-21.1	-5.2	0.0	-5.2	-5.2	-5.3	5.3	0.0	-21.1	-10.6
	全業種	-7.9	2.7	-2.6	-10.6	-13.1	-7.9	-2.6	-7.9	-2.6	-2.6	2.7	-5.3	-15.8	-7.9
設備操業度	製造業	0.0	5.3	-5.2	10.6	-31.5	5.3	0.0	5.2	15.8	-21.0	15.8	-21.0	10.5	10.5
雇用人員	製造業	-10.5	-5.2	-5.2	-5.2	-21.0	-10.5	0.0	-5.3	-10.5	-10.5	-5.3	-21.1	-10.5	0.0
	非製造業	-10.5	0.0	5.3	10.5	-5.3	-10.5	-5.3	-5.3	0.0	0.0	15.8	10.5	-5.3	5.2
	全業種	-10.6	-2.7	0.0	2.6	-13.2	-10.6	-2.7	-5.3	-5.2	-5.3	5.3	-5.2	-7.9	2.7
景況	製造業	-26.3	-26.3	-36.8	-31.5	-42.1	-31.5	-26.3	-31.5	-36.8	-21.1	-15.8	-26.3	-15.8	10.5
	非製造業	-21.1	0.0	15.8	-5.3	-10.6	0.0	21.1	-26.3	0.0	-5.3	15.8	5.3	-15.8	5.3
	全業種	-23.7	-13.1	-10.5	-18.4	-26.3	-15.8	-2.6	-28.9	-18.4	-13.1	0.0	-10.5	-15.8	7.9

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2024年												2025年	前年との増減幅
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
売上高	製造業	-21.1	-10.5	5.2	-15.8	0.0	5.2	-5.3	10.5	0.0	-21.0	-21.0	-21.0	-21.0	0.1
	非製造業	5.3	26.3	21.0	5.2	-5.2	-15.8	10.5	15.7	5.3	-5.3	36.9	15.8	0.0	-5.3
	全業種	-7.9	7.9	13.2	-5.3	-2.6	-5.3	2.6	13.2	2.7	-13.1	7.9	-26.0	-10.5	-2.6
在庫数量	製造業	-21.0	-15.8	0.0	-10.6	-10.5	-10.5	-15.8	-21.0	5.2	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	21.0
	非製造業	8.3	16.7	25.0	16.7	16.7	8.4	16.7	-16.7	16.7	8.4	16.7	16.7	8.3	0.0
	全業種	-9.6	-3.2	9.7	0.0	0.0	-3.2	-3.2	-6.5	9.6	-3.2	3.2	0.0	3.2	12.8
販売価格	製造業	26.3	15.8	0.0	-5.3	15.8	10.5	26.3	26.3	21.0	21.0	21.0	21.0	10.5	-15.8
	非製造業	36.8	42.1	57.9	57.9	63.2	52.6	57.9	52.6	42.1	57.9	31.6	63.2	57.9	21.1
	全業種	31.6	28.9	28.9	26.3	39.5	31.6	42.1	39.4	31.6	39.5	26.3	42.1	34.2	2.6
取引条件	製造業	-15.8	-10.5	-5.3	-5.3	-5.2	-5.2	-10.5	-10.5	-10.5	-21.1	-21.0	-10.5	-10.5	5.3
	非製造業	0.0	-10.5	0.0	-10.5	-15.8	-15.8	-15.8	-15.8	-5.2	-10.5	0.0	-5.2	0.0	0.0
	全業種	-7.9	-10.6	-2.6	-7.9	-10.5	-10.6	-13.2	-13.2	-7.9	-15.8	-10.5	-7.9	-5.3	2.6
収益状況	製造業	-26.3	-36.9	-26.3	-36.8	-36.8	-47.3	-42.1	-5.2	-15.8	-42.1	-57.9	-42.1	-47.3	-21.0
	非製造業	0.0	5.2	21.1	5.3	-10.5	0.0	5.3	5.3	5.2	15.8	15.8	5.3	-5.3	-5.3
	全業種	-13.2	-15.8	-2.6	-15.8	-23.6	-23.7	-18.4	0.0	-5.2	-13.2	-21.1	-18.4	-26.3	-13.1
資金繰り	製造業	-15.8	-10.9	-10.5	-15.8	-15.8	-15.8	-10.5	0.0	5.2	-10.5	-21.0	-21.1	-21.1	-5.3
	非製造業	5.3	5.3	10.5	5.3	-15.8	-5.3	-10.5	-5.2	-10.5	0.0	-5.2	0.0	-21.0	-26.3
	全業種	-5.2	-2.6	0.0	-5.3	-15.8	-10.5	-10.5	-2.6	-2.6	-5.3	-13.1	-10.5	-21.1	-15.9
設備操業度	製造業	0.0	-5.3	0.0	-15.8	-26.3	-26.3	-21.1	-10.6	5.3	-15.8	-15.8	-31.6	-31.6	-31.6
雇用人員	製造業	-31.5	-21.1	-21.0	-26.3	-36.8	-31.5	-10.6	-10.5	-15.8	-21.1	-21.0	-26.3	-26.3	5.2
	非製造業	5.2	5.3	0.0	5.2	5.2	5.3	0.0	0.0	0.0	-5.3	5.3	5.2	5.2	0.0
	全業種	-13.2	-7.9	-10.5	-10.5	-15.8	-13.2	-5.3	-5.3	-7.9	-13.1	-7.9	-10.5	-10.5	2.7
景況	製造業	-31.6	-36.8	-36.8	-26.3	-36.8	-42.1	-31.6	-26.3	-21.1	-42.1	-42.1	-36.8	-31.5	0.1
	非製造業	-10.5	0.0	-5.2	-5.2	0.0	-10.5	5.3	0.0	0.0	-10.6	15.8	5.2	-15.8	-5.3
	全業種	-21.0	-18.4	-21.1	-15.8	-18.4	-26.3	-13.2	-13.2	-10.5	-26.3	-13.1	-15.8	-23.7	-2.7

情報連絡員報告総括表(令和7年9月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
製造業	食料品	1	1	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	1	1	1	0	0	2	0	0	2	0
	繊維工業	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2
	木材・木製品	2	0	2	0	4	0	1	3	0	0	4	0	2	0	2	0	3	1	1	2	1	0	4	0	0	3
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1
	出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2
	化学ゴム																										
業	窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
	鉄鋼・金属	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2
	一般機器	2	1	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	1	2	0	0	3	0	0	3
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1
	輸送用機器																										
	その他																										
非製造業	19	6	9	4	0	18	1	1	18	0	1	18	0	4	12	3	0	17	2	3	15	1	0	17	2	0	16
	100%	31.6%	47.4%	21.1%	0.0%	94.7%	5.3%	5.3%	94.7%	0.0%	5.3%	94.7%	0.0%	21.1%	63.2%	15.8%	0.0%	89.5%	10.5%	15.8%	78.9%	5.3%	0.0%	89.5%	10.5%	0.0%	84.2%
	卸売業	3	3	0	1	5	0	0	5	1	0	6	0	1	5	0	0	6	0				0	6	0	1	5
	小売業	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0				0	0	1	0	0
	商店街	0	1	3	1	2	1	2	2	0	0	3	1	0	2	2	0	2	2				0	4	0	0	2
	サービス業	1	0	4				0	4	1	0	5	0	1	2	2	0	4	1				0	5	0	1	2
造業	建設業	0	0	1			1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0				0	1	0	0	1
	運輸業	2	0	0			1	1	0	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1			0	2	0	0	2	0
	その他																										
	19	6	4	9	2	8	1	5	12	2	0	18	1	3	10	6	0	15	4			0	18	1	2	12	
業	100%	31.6%	21.1%	47.4%	16.7%	66.7%	8.3%	26.3%	63.2%	10.5%	0.0%	94.7%	5.3%	15.8%	52.6%	31.6%	0.0%	78.9%	21.1%				0.0%	94.7%	5.3%	10.5%	63.2%
	38	12	13	13	2	26	2	6	30	2	1	36	1	7	22	9	0	32	6	3	15	1	0	35	3	2	28
業	100%	31.6%	34.2%	34.2%	6.5%	83.9%	6.5%	15.8%	78.9%	5.3%	2.6%	94.7%	2.6%	18.4%	57.9%	23.7%	0.0%	84.2%	15.8%	15.8%	78.9%	5.3%	0.0%	92.1%	7.9%	5.3%	73.7%

情報連絡員報告総括表（令和7年9月分）

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回 答 数 38(100%)

1－2 業界の景気動向（前年同月比）

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製 造 業	食料品	0	2	0	1	0	1	1	0	0	2	0	0	0	2	0	2	0	0	1	1	0	1	1	1	1	0	
	繊維工業	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	2	
	木材・木製品	0	0	4	1	3	0	1	3	0	0	3	1	0	1	3	0	1	3	0	2	2	0	3	1	0	1	
	紙・紙加工品	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	
	出版・印刷	1	1	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	2	0	0	2	0	2	0	0	2	
製 造 業	化学ゴム																											
	窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	
	鉄鋼・金属	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	0	0	2	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	
	一般機器	1	1	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	3	
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	
製 造 業	輸送用機器																											
	その他																											
	19	3	9	7	2	15	2	3	15	1	1	15	3	1	8	10	0	15	4	0	13	6	0	14	5	1	11	7
	100%	15.8%	47.4%	36.8%	10.5%	78.9%	10.5%	15.8%	78.9%	5.3%	5.3%	78.9%	15.8%	5.3%	42.1%	52.6%	0.0%	78.9%	21.1%	0.0%	68.4%	31.6%	0.0%	73.7%	26.3%	5.3%	57.9%	36.8%
	非 製 造 業	卸売業	2	3	1	0	6	0	1	4	1	1	5	0	2	4	0	1	5	0			1	5	0	1	4	1
製 造 業	小売業	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0			0	1	0	0	1	0	
	商店街	0	3	1	1	3	0	4	0	0	0	4	0	0	2	2	0	2	2			0	4	0	0	2	2	
	サービス業	1	3	1				4	1	0	1	3	1	2	2	1	0	4	1			1	4	0	1	3	1	
	建設業	0	0	1				1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1			0	0	1	0	0	1	
	運輸業	2	0	0				1	1	0	0	2	0	0	0	2	0	1	1			0	2	0	0	2	0	
製 造 業	その他																											
	19	5	9	5	1	10	0	12	6	1	2	15	2	5	8	6	1	13	5			2	16	1	2	12	5	
	100%	26.3%	47.4%	26.3%	8.3%	83.3%	0.0%	63.2%	31.6%	5.3%	10.5%	78.9%	10.5%	26.3%	42.1%	31.6%	5.3%	68.4%	26.3%				10.5%	84.2%	5.3%	10.5%	63.2%	26.3%
	38	8	18	12	3	25	2	15	21	2	3	30	5	6	16	16	1	28	9	0	13	6	2	30	6	3	23	12
	100%	21.1%	47.4%	31.6%	9.7%	80.6%	6.5%	39.5%	55.3%	5.3%	7.9%	78.9%	13.2%	15.8%	42.1%	42.1%	2.6%	73.7%	23.7%	0.0%	68.4%	31.6%	5.3%	78.9%	15.8%	7.9%	60.5%	31.6%